

ちら側が流水でけずられているか。

流れは、やや曲がっているが、それは内側か、外側か。

(3) 川底のようす。

川底は、花崗岩の円レキや、うすい緑色片岩のレキからできており、レキの大きさは、5～30cmぐらいの大きさに、流れも急であり、上流の特徴をあらわしています。

永戸小学校

1. 川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

下高野沢橋の付近

(2) 橋の上から、川原のようすや水の流れ、岸のようすを観察する。

① 川原のようすや水の流れなど、川の全景をスケッチする。

② 川が大きく曲がる付近で、岸が水の流れでけずられているのは内側か、外側か。

③ 川の断面を書いてみる。

④ 支流から運ばれた砂やレキは、合流点の下流側につもっているのは、なぜだろうか。

(3) 川原において、流水のはたらきを調べる。

① 川が大きく曲がっている付近では、外側と内側とで、水の流れの速さはどうか。

② 水中のぞき箱で川底をのぞき、砂やゴミが川床にそって流されているようすを観察する。

